



ゆっくり ゆっくり

時代と共に生活環境を発展し、楽になってきていますが、失われているものもあるように思います。例えば、子ども達の生活では、蛇口をひねり、水が出る... 今までは当たり前の事でしたが、手をかざせば自動で水が出る水道も、多く普及され、「蛇口をひねる」という動作が、簡単に「できない」という事もあります。手先、指先等、使わなければ「発達せず」器用に動かす事は、できません。子ども達にとっては、少し不便な方が、頭で考え、手指先を動かす、身体をつくるのにはいいのだと思います。

そして、2歳頃までの「いたずら」... せむし山やらせてあげて下さい。
5、6歳で「算数」に集中して遊んでいる子は、乳児期に「山」いたずらしてきた子と云われています。ティッシュを思いつく分、指先で引っ張り出し、小穴にポンと何かを入れつまらせてみたり。うちの息子を2歳頃にお世話になっていた知れぬ家で、二歳まで出るといって、相月から「山」やらせてあげて下さい。と云われるので、お母さん「そんなのあったのね」と顔と合わせ、息子と会話をしていました。今、保育園の2歳児を「ほら、これからやらせ」と「ヤリ」のものを「お母さん」ロッカーの服をさげ〜と出し、又、ソングリ。でも、最後は、一緒にたたんでお付け。家でやらせると困る事もあるかもしれませんが、これを子ども達が育つのに大事な過程の一つです。危険な事にはならないように、それだけはしっかりと注意し、あとは、思いつく分やらせてあげて下さいね。スッカリ、満ちたお母さんは「あうん」でいいです。子どものこの「いたずら」か、指先、手先、思考、発音、等に、もつなっているのです。"あうん、またやらせろわ〜"と、笑ってしまふ。寛容でいられる事、大人達の課題ですわ。子ども達の行動には、全く意味がある!!

すっぴいね〜。

親子であそぶ
家族であそぶ
身近なものであそぶ

先日、園では「造形あそび展」というお見せの行事があり、今年のテーマは「家族であそぼう!!」の中で、「親子であそびの学校」として子ども達にあそびを伝えてくれる、有藤留治さんの講演がありました。とても大切な事がいっぱいあったので、地域のみなさんにもお届けします。

子どもの能力を信じよう!!
「ダメ!」「こうでしょ!!」と否定せず子どものやりたいようにまずはやらせてみよう。

遊びの中から学びがある
便利な道具や生活も元をたどれば子どもの遊びからヒントをもらっている物もある!
(弓矢→火起こし→バイオリンなど)

子どもの教育にお金はかけず体験を!
今の子どもは忙しい。親と一緒に生活する中で発見する事やじっくりと観察、疑問を感じる体験ができる。

子どもは3年生を過ぎると親元離れて友達と遊びだす
今しかない時間を沢山子どもと向き合ってみよう!

母親が料理をすること!
Q 刃物の扱い方はどうやったら?
大人が使わない使えない物、家にはない物は難しい。まずは大人が見本となつて。(エプロンのチョウチョ結び、ナイフで鉛筆けずるなど出来ない大人がいっぱいいます。出来ますか?)

枠にはめようとする伸び伸びできなくなる
自由に描いている絵、小さい時に描いた絵、とても発想が豊かです。(大人になるとこの絵は描けないな〜)

繰り返しやる事で身についてくる
弓矢や竹とんぼなどの危険な遊びもルールを守るまでやりながら見守ると危険と向き合いながら上手に遊べる様になる。

家族で遊ぶ(体験する)事の大切さや危険な物とどう向き合っているのか。是非、大変だけど、22ホヤタブレットに子育てを任せたいわ!!

この日、子ども達は、紙ひょうきを作ったり、紙で花をついたり、身近な素材であそび、危険な物でもルールを守りあそび、弓矢に挑戦したりしました。

子ども達もあそびの世界に夢中でした。

相談・受け
休日はなし
2946-3310
担当 西田